第223号 1909. 9. 26.

明治一一年十二月廿五日第三種郵便物認可　（毎月曜日及祭日の翌日休刊）　明治四十二年九月廿六日（日曜日）　第二百廿三號

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●安奉解決の眞相

（清廷の親日主義）

安奉線問題に關して我國が自由行動に出づべき旨を通告したるに關し清國一部の人民中兎角不滿を抱く者ある由なるがこれ日清談判の眞相を知らさるがために外ならず某事情通の談によれば當時我伊集院公使等の和協的對清運動は頗る都合よく進捗し清國も亦親日的態度を取つて妥協すると可とすといふに傾きたれ共軍機大臣にして外務部總理たる慶親王と外務尚書梁敦彦が中間にありて阻止し日清談判の模樣を攝政王に明かに知らしめざりしより談判轉た行悩みたるが偶々攝政王は肅親王及び二弟洵湧兩貝勒等によりて實狀を得非常に驚きて將に外務部をして排日態度を改めしめんとするや此時遽に我が自由行動の通牒は早く清國に致されたり是に於て攝政王は非常に立腹して梁敦彦を叱責せられ之より諸方針一變し日清兩國の交渉は急轉直下の勢を以て進捗したり而かも之が裏面には有力なる親日論者（肅親王も其一人）ありて有力なる大臣高官の間に奔走して長く日本と紛議を重ぬるの不可なるを說き此方針に一致せしめたる際なるを以て我が自由行動の通告を好機會として十二分の利き目を見せたる次第なり尚攝政王が日本に好意を寄せらるゝは種々の方面より立證するを得べく又現朝廷派が故西太后派と日に益々溝渠を劃し西太后派は漸次悲運に傾きつゝあり斯く現朝廷派が親日の方針を採れるは賀すべき事にて自面書生が日貨排斥を唱道する如きは寧ろ清國朝廷と政府有力者の眞意を解せざるに歸せりと云ふ

●韓人と火災保險

目下在京の火災保險會社は外國會社五日本會社七なるが保險率は千圓に對し最低三十圓を限度とし以上は應對に依る被保險者は固より韓人を本位とするにあれども未だ幼稚なるが往々眞正なる申込人もあり併し殆んど總ては勸誘の結果にして自ら保險の性質を解し申込ひは稀れなり各社の競爭は殆んど沒理の程度に迄皮肉なる手段を用ゐ居れり財界を保險は最も密接なる關係を有すれども昨今の如き多くの申込者の要求は殆むど不健康にして目的は融通にあり總じて火災保險の觀念は一般に幼稚の域を脫せず軟には理想の營業は尚は十數年の後に俟たざるべからずと某保險會社長は語れり

俳句

●第六回月次集　すみれ會

（結）馬子野鳥多遠山二十天由利白進

◎秀逸

稲妻や天幕のそとの傳令使　玉糸

宵暗や稲妻に見るつくば山　凸坊

稲妻や山路さびしき一人たび　弓糸

稲妻や酒代が利いて急ぐ褞籠　月哉

稲妻や野道をいそぐ小提ちん　萩水

稲妻や杉の立木の二三本　松月

稲妻や入江にいそぐ船二艘　秋花

稲妻や森に羽ばたく旅がらす　萩水

稲妻や物眼にすごき廣野はら　弓糸

稲妻や肌にねばへし山の冷淡　水

稲妻や引きしめて行く馬の口　同

◎稲妻や野路をよこぎる物の影　萩水

◎自句　ひら

盆踊り音頭は馬子の三太とて

朝顏や白きはものゝ數ならで

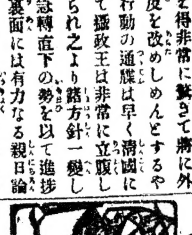
初秋や二枚かさねし紺がすり

稲妻や頬ぶるながき馬のつら

烏羽玉の闇はあやなし塵の聲

●編輯餘つて昨紙に入る

第六十席　桃川燕玉演



すると江上關龍と云ふ人の道場で、日々門人が集りまして撃劍の稽古、れ面だ、れ小手、た胴だとポカ〳〵打合つて居る、彦九郎は之を見まして何時も笑つてばかり居りました、或時の事で關龍と云ふ先生が「高山、貴公は屢に長劍を帶びて天下を往來をするが、劍術は何流を使ひなさる　彦「私は劍術は知らぬ　關「知らぬと言つて刀を帶して往來をする者が、故方を知らんければ用を足さぬ、無用の長物、結句刀は帶さぬ方が宜い位なもの、劍術を學んだが宜からう、失禮ながら拙者が教へて進ける、ちとやんなさい　彦「イヤ劍術などは頓とやるに及ばぬ、敵を殺せば宜いのだ、如何なる者が參つても拙者は一刀の下に打殺す事は知つて居る、何も窮屈な思ひを致し、木劍や竹刀を振廻して、れ面だのれ小手だの、怒鳴り立つて飛廻るに及ぶぬ、拙者は如何なる者でも一打に倒す、それだけの事を自得して居るから別に劍術は習ふ必要はない　關「それは高山御論だ、其道を學ばずして出來るものでない、私が是だけ多くの門人があるも、丹精をして教へても、さて卓越する者は數へる程、なか〳〵傑業をしたからといつて容易に達するものでない、況して其門に入らず、なか〳〵出來るものではない　彦「喪公も隨分所が出來るから差支はない　關「喪公も隨分強情な人だ、然らば門人と一本遣つて見さつしやい、早々此れへ出さつしやい、彦九郎一本對手をする、弟子達が「劍術を知らないで、そんな大言を拂つたつて役に立たない、此男も豪い人だが元と上州の山の中で人となつて世間見ず、人を馬鹿にして居る、目につてやれ」と「高山の弟子が、「高山、其の聲さなから百雷の落つるが如く、門人先生、然らば一本御手合せを　彦「さア來さ

つしやい、態て道場へ飛出して　○「道具をして眞向から打ち下す、面を充分に打つた、御着けなさい　彦「イヤ道具などはいらぬ　○「大力の彦九郎でございますから、一打ちで萬一御怪我でもなさると甚だ不都合……　彦「何んな處へ打ち倒され　○「參つた」　彦「大丈夫、怪我などをしつてはない、面だなもの、だから道具を着けて居さつしやいと、んと云つて斯んな窮屈しい、却て邪魔になる言つた、何と關龍先生、此調子なら骨まで つていかぬ、道具外れも何も遠慮はない、美事に切れましたらう、どうだ」　江上關龍際があつたら何處でも私を打たつしやるが先生クス〳〵笑つて居る　彦「ア誰か二三宜い、併し前の方は道具を着けて置け、人代つて御出で」　之を見ると他の門人が憤私がはづむと打ち處が惡く、目でも廻すと然でした　△「どうだいかう氣の利かない、ど打ち處が惡く、目でも廻すと先生は劍術を知らないと云ふ、知らない者は、其方は道具を着けさつしやら、其方に今の負け方は何だ、かたで劍術にも何に樂面素小手だ」　人を馬鹿にしたもなりはしない、拙者仇を取る……へイ高い、拙者は素面素小手だ　彦「さア來い」　ヤッと奴があつたもの　○「然らば御言葉に隨ふ關山先生一本願ひます　彦「さア來い」　ヤッと龍の弟子は稽古に熱れて居るから、胴を着

けて面を付け小手を差して　○「さア先生參り言つて眞向に振被る、エイと喚いて打込む受けるも退くもない、腦天を強かに打据ゑ△「參つた」出る者も出る者も、五六人其處へポカ〳〵叩き倒され　▲「どうも不思議だ　○「不思議にも何にも大變な眼だ、高山の眼の光りで一つ膽を潰す、所へ持つて行つて聲が腸へビリ〳〵と響ける、恐ろしい聲、あいつでどうもいかぬ、眼を眠つて聲さへ出さなければ負けつこはない」そんな劍術の試合があるものぢやない、どうも吾々は迚もいかぬといふ、彦九郎竹刀を拋つて　彦「どうだ先生、劍術などを別に習ふ必要はない、斯んなもの、ヤッと言つて立上れば十人二十人撫斬りにして見せる、別に劍術の積古は要りますまい」關龍大口開いて打笑ひ　關「それは高山いかぬ、御身の論は傍若無人、誠に失禮だが井の中の蛙大海の廣きを知らぬ、私の弟子だ、まだそれ程に業が熟さぬから御手前に打据られる其業に達した者に出會ふ、其許などはかた で論ずるに足らぬ、暴虎馮河の勇、猪武者 頓とどうも論ずるに足らぬ……

廣告

統監府御用
宮內府御用
軸物表裝、金銀屏風
額面、襖、壁張、天井張、
雨戸、障子、硝子戸、
其他表具、建具一式
表具建具　商　石川辰次郎
京城明町（電話二八七番）

東京松本樂器會社韓國代理店
櫻組製靴と四ケ所商店
本邦製靴界ノ親玉トシテ好評嘖々タル櫻組製靴部ト特約ノ上尤モ嶄新ニシテ尤モ堅牢ナル品チ尤モ廉價ニ御取次可仕候間續々御用向被仰付度御申越次第何時ニテモ參上寸法頂戴可仕尚ホ定價表御入用ノ方ハ御申込次第送呈可仕候
京城本町二丁目（電話三二一）
四ケ所商店

東京　高等御下宿
國分旅館
壽町二丁目

東京　商業會議所
リヨリ　前　東へ半丁上ル
リヨリ　側　左ル
土地高燥清涼

明治屋
至急禀告
は昨今惡疫流行に際し左の品々御使用を御勸め申上候
○ブランデー　○ウイスキー
○リキユアー　○クラレット類
右は御最寄の食料品店にも販賣致候に付き殊に精良品御撰擇肝要に御座候
本町三丁目
合名會社明治屋
京城支店
電話貳壹貳番

歐米雜貨類
諸官衙御用達

割烹界の福音
味の素
「味の素」は調味料として、和洋料理には勿論、一般の家庭に是非缺くべからざるもので、旅行の時などに携帶せられたならば、如何なる邊鄙な土地でも、食物の不味さを訴ふることはありません、その上饗餐や昆布の樣に色々御加減の手數も入らず誰れにでも克く即應に應ずる事の出來ない うまい飲食物を調理するには「味の素」の外にはありません。一瓶金四十五錢、他地方は引替小包にて送ります

韓國特約店
歐米雜貨
洋酒食料品
洋燈草類
金銀屏美術品
直輸入商
京城本町二丁目
電話三番

辻屋
本店電話二四八番
支店電話二六六番

(二)（月刊（月曜及祭日ノ翌日休刊）） 明治四十二年九月廿六日 京城新報 第二百廿三號（日曜日）

美術半衿帶上帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目
ゑり德商店

京城新報

韓國財政の前途

韓國政府に對する帝國の立替金年額四百萬圓の支給は明治四十四年度を以て期限となす、韓國政府は型四拾五年度より之に代るべき新財源を發見せざる可らず、然れども韓國の現狀に於ては容易に好個の新財源を得る能はず、今眼前に好財源と目され居るものは唯夫れ土地の收入のみ、之れ迚も今後年々增加する歲出を支辨するは頗る難事の業たらひ、要するに韓國今後の財政計畫は頗る大問題にして眞個に研鑽せざる可らず、當局者には如何なる成算ありや常に帝國の財政を悲觀せる井上侯は限りある財力を以て限りなく韓國に注入するは到底堪へ難しとなす、然り侯が平生の財政觀よりすれば當然の言說にして今更に毫も怪びに足らず、余輩は素より井上侯の如く帝國の財政を悲觀せざるのみならず、韓國財政の順調に向ふまで年々四五百万圓位を注入するも敢て左程の影響を受くることなきを信ず、然れども若し韓國にして他に財源を得るの方法あらば强ちに帝國窮乏の財政中より之を援補支給するに及ばず、殊に韓國の現在は百事創始の際にて年々四五百萬圓位の援補も得るを到底及ばざるの觀なしとせず、茲に於てか韓國自身が好個の財源を發見して之に應ずるの策を立てざる可らず、果して之に應ずべきの好財源なるものありや。

韓國現時の民力を顧れば數百年來の苛政誅求によりて殆ど涸渴せり、從て國民の元氣消耗し盡くせるの觀なきに非ず、財源を得んとすれば先づ以て民力を休養し國民の元氣を回復せざる可らず、民力涵養せられ產業勃興し來らば幾多の好財源は茲に生じ來るべし、要するに今は財源の涵養時代にして財源發發の時代にあらず、茲數年間は可成彼等の負擔を輕くして休養せしめざる可らず、大に取らんと欲すれば先づ大に與へざる可らず、若し夫れ此涸渴せる民力に對して更に其負擔を重からしむるに於ては、產業の發達せざるのみならず、我保護政治を怨嗟し却て自暴自棄に陷入らしむる恐れなしとせず、是故を以て好財源を得るには數年の後に期するこそ賢明なる手段たらむ然らば如何にして目前の財政を料理して百般の施設をなすべきか、是れ即ち問題也。

如何なる賢哲明相が其局に當るとも、無前に遡るが如く韓國は百事創始の際にして起すべき事業多く、開發すべき土地多し交通運輸機關の整備、治道水利植林等眼前に爲さゝる可らざる事多きも、財力なき爲に意の如くならず、茲に於てか余輩が屢々唱道せる外債を起す外なからむ、幸に當局者にして起債せんとし帝國政府又之に援助を與るに至らば優に韓國開發の資を得べけんか、斯くして民力を涵養すると共に其資によりて產業を興起せしむるは目下の急務ならむ、民力涵養せられ產業勃興し來れば其償却は易々たるのみ、斯の如くにして我保護政治は韓國民の謳歌する所とならむ、當局者夫れ是を實行するの雄斷なき耶。

東京電報

▲大演習組織成

來る今秋東北の野に於て擧行する特別大演習には特に豫備師團より後備師團を編制し該演習に參加せしむる筈なるが元來後備師團は戰時に在ては編成せし事あるも平時に在ては今回を以て嚆矢とす而して今秋の編成は戰時同樣旅團長聯隊長は勿論大中隊長下士卒に至るまで後備兵を以て編成し之に加はらしむる計畫なるも尚ほ現行の動務演習條例には上長官以下將官は動務演習に召集し得る事に決定し居るも常に經費の都合に依り將校の召集せられたる事なく特に將官を演習に召集せしは殆んど絕無に屬す然るに日露戰役により其必要を認めの今回は豫後備將官及上長官をも召集動務演習を行はしむる筈なりと（二十四日午後發）

▲韓銀株割當決定

昨日韓國銀行設立常任委員會を開き協議の結果按分比例に依る割宛（三百二株に對し一株の割合）の外は抽籤法に依る事に決定し三百二株以上の申込者は株數の多少に拘らず一人に就き一株を抽籤するの權利あるものとす（同上）

▲英國元帥の出迎

日本秋季陸軍大演習參觀の爲め近く韓國を經て渡日すべき英國元帥前印度軍司令官キチナー將軍出迎の爲め陸軍省副官大臣秘書官砲兵中佐吉田豐彥、參謀本部員歩兵少佐河西猪一、同工兵少佐曾田耕一郎の諸氏を滿洲及韓國へ差遣さる（同上）

▲北海道の經營案

北海道經營案は大体に於て決定せり而して本月中には更に細目の決定を爲し內務大藏兩當局協議の上大臣に申請し同時に豫算に計上すべし尙ほ河島同道長官は同地撰出代議士に近々內容を說示すべしと（同上）

▲細目協商の進捗

安奉線工事に關する細目の協商は其後小池總領事と鍋東三省總督と交涉中なるが漸次進捗し余す處は僅かに三四項目のみなれば來月上旬までには決定すべし（同上）

▲未曾有の大演習

來る十一月五日より宇都宮附近を中心として擧行せらるべき陸軍特別大演習は既記の如く第二第七第八第十三第十四の各師團及び豫後備兵を以て編成し更に後備一箇師團の外に騎兵第一、二、旅團野砲兵第一、二、三の各隊交通兵旅團を參加せしむる筈なるが之を一昨年上總の野に於て擧行せられたる我が陸軍創設以來の大演習なりと云へるに比し尙ほ二箇師團其他各特別部隊を參加せしむる筈なれば該演習の結構壯大なる驚く可し（同上）

▲震災豫防調査會

文部省內に開催せる震災豫防調査會は其調査事項決定の上愈〻來る秋東京に於て擧行せらるべき

●曾禰統監と藝妓

▲渡韓と聞て病氣全快

池上川崎の圓馬場にガラ箱振つて駒の足掻も馬夫のメートルを力とし一握千金の穴師等が六人曳の腕車宙を飛ぶ如く往來の雞輩殺して村の濁酒屋百圓札の釣錢に閉口垂れた競馬全盛の時代には馬政局長官と時め き玉ひ今は過ぐと玄海灘の浪路を渡たつて

朝鮮の御代官承わる曾禰荒助

の殿様未だ東京に居た時分は一すい〜木挽町の河内屋で御用召になる女と云へは新橋仲通の菊三升常子の處の花駒（芸名）で義經と静、宗盛と熊野の聲は恩なる事、ピステキに馬鈴薯納豆に辛子の雌れぬ仲、二重高樓に紅襟飾毎日毛巻の鏝を當てゝ小鬢の端に火傷をするも厭わぬ程の若殿原も

荒助

ラヽン〜アラリイヨと韓女が水砧の歌を歌ふ度に花駒が微醉の頬をポツとほてらして横座のきの字形水鬪子の爪彈で此文句は私の心と同じよと中音で歌ふ歌澤の甘つ垂れた可愛さを泌々と思ひ出し例之骨に虎

老大人が花駒を乗りこなす

手綱

捌にアツト感服し流石は馬政局の親玉だけあつて鐙の入れ方が別だわねと指もさすに見物する程なれば朝鮮に渡つた後もアヤ

一片

の**情書**と云ふものへ朝鮮名代の織物を澤山添へて菊三升へ送り玉ふ程なれば花駒の方でも大に敬意を表して天地紅の喰裂紙赤の御見を待まわらせ候と古風な返書を出して置いたが先頃の曾禰さん御病氣の時奥方が遙ん看護の爲め渡海すると極つ急ので花駒は染さん御一人では御手の屆かぬ所もあり旁ん故私も是非御見舞に出掛けるわと船島裳へ化粧道具と讀掛の小説を入れ汽車の切符は新橋で買へば宜いわねと頗る節單に繰出さうとするを河内屋で見れまへの實意は曾禰様に能く申るからまア御待と漸く朝鮮行を思ひ止まらせたが花駒が渡韓するとの

手紙を讀んで忽ち**病氣全快**に及んだ曾禰御代官花駒が朝鮮行中止と聞いたら亦た急に**差込**が來て寝る様にならねば宜いがと統監府出張所の若手連が噂話し（都所載）

●稀代の窃盗就縛

△賍品積んで山の如し

△南部署刑事の大手柄

自稱京畿道江華生れ目下住所不定の李成龍は去る六月十日龍山本町三丁目ロノ七番戸淵口長利方に忍び入り衣類雜品十六點（價格凡百圓）を九月十三日再び淵口方にて雜品柳行李四個を窃取せるを手初めに七月九日には龍山鐵道官舎第六十七號ノ二土田一夫方にて衣類雜品三十點（價格百九十圓）を入月廿四日には龍山本町四丁目前田藤之進方にて衣類數點を窃取せる外數十軒にて價格約八百餘圓の金品を窃取し龍山鐵道官舎居住前科者**松本**藤兵衛妻**ひさ**（八二）に情を明かして**質入方**を依頼して元鐵道通譯とか中村格一とか出鱈目に僞名して龍山**桃山**遊廓開運樓娼妓成駒（芸名）淸栄樓八重子事田中ひさの（三二）日暦樓月曜事福岡縣生れ高原いち（二）に浮れ廻り居りしを烟眼なる南部署長野工藤兩刑事の探知する所となり去廿二日午後八時頃同人が**日曜楼**に登樓し**月曜**を**敵娼**として豪遊を極めつゝある所に踏込み難なく捕縛し本署に引揚げ田部警部主任となり目下嚴重取調中なるが同人は散髪洋裝の頗る高樣男なるがこれが檢擧に功勞ありし前記南刑事は桐原警視より親く特賞せられたりと

●京城市内の虎疫彙報

▲邦人續々罹病す

京城大和町二丁目統監府合宿所樂美寮吏員家入傳（二）は廿三日午後發病青坡病院に收容す△竹洞八十四統一戸金弘植長女李姓女（一）は廿三日午後五時發病傳染病院に護送せらる△廿三日午後八時南山町三丁目二番戸古川組人力車夫鈴木喜助（廿六）はコレラと確定し青坡病院に收容せらる△廿三日午後四時京城儲蓄會前五十八統二戸無職李聖道（廿三）は異正虎疫にて死亡△廿三日午後水閣五十一統李千典（廿二）はコレラにて死亡△原籍愛知縣平民當時京城本町三丁目三十七番地旅館方雇人竹下は女（廿二）は虎疫と確定し青坡病院に收容す△南山町一丁目百番戸中島初太郎（廿三）は廿四日死亡△南部山林洞四十七統二戸金思俊方李永甫（廿三）は廿四日虎疫に罹る△廿四日午後七時金洞八十五統十五戸金德基の子金景男（廿二）は虎疫にて死亡す△晦洞五十二統六戸會典演方雇人趙姓女（廿）は廿三日異正コレラに罹る△誠明坊晦洞五十六統四戸韓敬植母李姓女（廿）は廿三日午後虎疫と確定す△山林洞三十五統三戸玄致運長男光健妻李姓女（二）は廿三日虎疫に罹る△長谷川町二丁目五十番戸松尾岩太郎（廿）は廿四日午後十一時虎疫と確定△廿四日午後南大門通三丁目山崎春治方同居石工三宅勝次郎（廿）は異正虎疫にて傳染病院に收容す△廿四日午後四時明治町二百〇五番地潮口井松太郎方雇人奥村丈太郎（廿二）は虎疫にて隔離中△廿四日午後三時小公園隔離せらる△廿四日午前十時明洞五十八統理事廳四角を通行せんとする所張込中の南部署巡邏に怪まれ醜何せる行動に逐に捕縛し本署に引致し嚴重取調べたる處に逐に包み切れず前記の犯罪自白せるに依り尚餘罪あるや見込にて引續き訊問中

●仁川のコレラ新患者

▲居留地内に侵入す

仁川に於ける虎疫は其筋の嚴重なる豫防消毒の結果一時終熄せんとする模様ありしが又しても數日前の雨天の爲めか其かあらぬか新患者續々發生すると共に今迄居留地内には一名の該患者を生せざりしにも拘はらず昨朝一名の新患者を發生したるは返すゝ〜も遺憾と云ふべく此際其筋に對し層一層撲滅に盡力せられん事を望むと同時に各自衛生に甚大の注意を拂ふころ肝要なり今左に之れを詳報せんに▲一昨廿五日仁川寺町二丁目六番地の十二居住の大工森元太郎（廿三）は異性虎列拉に罹りたれば直に離隔すると共に消毒を施し同家附近の一區畫に對しては交通遮斷を爲したり尚ほ同日韓人部落に於ける新患者如何を聞くに內洞一松峴洞一牛角洞一花村洞一計四名を生じ初發以來の患者累總數は百六十三名（內日人六名）にして其內一昨日五名の全治者四名の死亡者を出したり▲越へて昨日未明仁川港繫留の漁船內に一名の日本人虎列拉新患者を發見したれば直に博染病者假收容所に隔離すると共に同漁船は消毒の上万石洞沖に繫留を命じたりと尚ほ亦た仲町三丁目末松方居留の仁川稅關給仕堀內增五郎（廿）は昨朝同病に罹りたれば直に避病院に收容すると共に同町手銭を消毒して交通を遮斷せり▲因みに右仲町の新患者は仁川稅關給仕に奉職中の者なれば同稅關に於ては昨日嚴重なる消毒を行ひたる由なり

●窃盗犯人逮捕せらる

▲被害者各地に跨る

原籍神岡縣小笠郡平田村大字峰田百三番地平民大工職喜一郎三男松本直吉（二十）は本年七月頃渡韓し爾來一定の職業もなく星野順平と僞名して各地を徘徊中去る八月十七日釜山幸町石塚吳服店にて現金十八圓を同地大遞町金物商松永とか方にて現金十八圓外數種に忍び入り多額の金員を窃取して九月廿二日龍山に入込み桃山遊廓入口大工小屋に忍び込み大工道具を窃取し九月四日夜二時過き京城明治町三丁目某建築場にても大工道具一式を攫淺ひ龍山新市街某古物商に金三圓五十錢に賣却し九月八日には京城南大門通り某時計商方表戸を釘を以て巧

●稀代の窃盗就縛

△賍品積んで山の如し

△南部署刑事の大手柄

自稱京畿道江華生れ目下住所不定の李成龍は去る六月十日龍山本町三丁目ロノ七番戸淵口長利方に忍び入り衣類雜品十六點（價格凡百圓）を九月十三日再び淵口方にて雜品柳行李四個を窃取せるを手初めに七月九日には龍山鐵道官舎第六十七號ノ二土田一夫方にて衣類雜品三十點（價格百九十圓）を入月廿四日には龍山本町四丁目前田藤之進方にて衣類數點を窃取せる外數十軒にて價格約八百餘圓の金品を窃取し龍山鐵道官舎居住前科者**松本**藤兵衛妻**ひさ**（八二）に情を明かして**質入方**を依頼して元鐵道通譯とか中村格一とか出鱈目に僞名して龍山**桃山**遊廓開運樓娼妓成駒（芸名）淸栄樓八重子事田中ひさの（三二）日暦樓月曜事福岡縣生れ高原いち（二）に浮れ廻り居りしを烟眼なる南部署長野工藤兩刑事の探知する所となり去廿二日午後八時頃同人が**日曜楼**に登樓し**月曜**を**敵娼**として豪遊を極めつゝある所に踏込み難なく捕縛し本署に引揚げ田部警部主任となり目下嚴重取調中なるが同人は散髪洋裝の頗る高樣男なるがこれが檢擧に功勞ありし前記南刑事は桐原警視より親く特賞せられたりと

●京城市内の虎疫彙報

▲邦人續々罹病す

京城大和町二丁目統監府合宿所樂美寮吏員家入傳（二）は廿三日午後發病青坡病院に收容す△竹洞八十四統一戸金弘植長女李姓女（一）は廿三日午後五時發病傳染病院に護送せらる△廿三日午後八時南山町三丁目二番戸古川組人力車夫鈴木喜助（廿六）はコレラと確定し青坡病院に收容せらる△廿三日午後四時京城儲蓄會前五十八統二戸無職李聖道（廿三）は異正虎疫にて死亡△廿三日午後水閣五十一統李千典（廿二）はコレラにて死亡△原籍愛知縣平民當時京城本町三丁目三十七番地旅館方雇人竹下は女（廿）は虎疫と確定し青坡病院に收容す△南山町一丁目百番戸中島初太郎（廿）は廿四日死亡△南部山林洞四十七統二戸金思俊方李永甫（廿）は廿四日虎疫に罹る△廿四日午後七時金洞八十五統十五戸金德基の子金景男（廿二）は虎疫にて死亡す△晦洞五十二統六戸會典演方雇人趙姓女（廿）は廿三日異正コレラに罹る△誠明坊晦洞五十六統四戸韓敬植母李姓女（廿）は廿三日午後虎疫と確定す△山林洞三十五統三戸玄致運長男光健妻李姓女（二）は廿三日虎疫に罹る△長谷川町二丁目五十番戸松尾岩太郎（廿）は廿四日午後十一時虎疫と確定△廿四日午後南大門通三丁目山崎春治方同居石工三宅勝次郎（廿）は異正虎疫にて傳染病院に收容す△廿四日午後四時明治町二百〇五番地潮口井松太郎方雇人奥村丈太郎（廿二）は虎疫にて隔離中△廿四日午後三時小公園隔離せらる△廿四日午前十時明洞五十八統理事廳四角を通行せんとする所張込中の南部署巡邏に怪まれ醜何せる行動に逐に捕縛し本署に引致し嚴重取調べたる處に逐に包み切れず前記の犯罪自白せるに依り尚餘罪あるや見込にて引續き訊問中

●惡店員の横領罪

原籍山口縣豐浦郡豐東村五百二十七番戸廣崎平民當時京城壽町一丁目九十三番戸大富治平方店員三木謹爾（二十）は以前壽町一丁目大島德平方に雇はれて居る內自分が注文を取り或は代金一圓に付四十錢を窃取して本町八丁目來山某に金一圓にて賣却し九月十三日頃前同樣某に金一圓にて賣却し九月廿二日南部署に告訴せられ田部警部一應取調の上留置せらる

●巡査虎疫に罹る

東署巡査樺山紀勇氏は連日防疫事務に獨掌され居りしが一昨夕遂に病毒に感染し手續の上隔離病院に收容されたるが同氏は常々精勤の譽高く署內に於ても頗る重せられつゝあるに付警視總監は早速昨朝見舞を遣はし慰問の意を表したりと

●景福宮のコレラ

猛烈を極め景福宮內にも侵入し昨二十五日同宮內女官一名に傳染し昨日は之が消毒の爲め非常の混雜を極めたり

●警部夫人の罹疫

內部寺島警部夫人は一昨日不幸虎疫に罹り隔離舍に收容されたるが同夫人は恰も臨月にて一同大に痛心しつゝありと

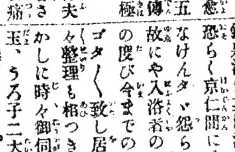
●仁川の赤痢患者

仁川松坂町三丁目居住の梶山菊子（廿二）は一昨日赤痢病に罹り直に避病院に收容さる

吉田館判斷

本町五丁目　三二　鍵

九月二十六日舊八月十二日八白先勝巳丑さたん△一白　間違多し旅行金談凶金品授受に紛爭起り易し△二黑　共同協力婚姻の事吉其外平凡△三碧　人に委托したる事より問題損害を受くる事あり盜害横領防ぐべし△四綠　交際上の破れ又は酒の破れを防ぐべし爭論中絶戒むべし△五黃　利潤を得る日なり創始改變の事大に吉但し射倖的行爲を戒しむ△六白　不如意の事多し創始改變の事凶病傷盜害防を施して仇を作る如きくべし△七赤　恩を施して恩あり歡財事多し△八白　快欣の日なり萬づ進んで吉但し婦人の身上につき世話事あり△九紫　翻譯不達多し留常に逸するなかれ的殺なし



◀平民文庫▶

▲龍山十五間道路の本町三丁目に朝鮮と云ふ料理屋がある此家は輕便安直と謂ふ觸出しでうして親切で料理が美味く女將の客を反さぬ愛嬌が呼物と成て頗る遊客の氣受けが宜しい（とイキ客）▲友人の太平洞人君は漢江行の貧性枯述縱にかゝり京城に於て自滅を遂げ候小生は此の度び龍山へ飛んで行き候得共不相變常欄へは邪魔に罷り出べく候間何分よろしく（畑酔玉）▲龍山新市街の白山鑛泉湯は其清潔にして構造の完美なる點は恐らく京仁間には此の湯の上に出づるものなけんダヽ怒らむらくは開業日猶は淺きの故にや入浴者の少なきを（湯好き）▲私は此の度び今までの職を罷めたり耗宅をしたりゴタ〜致し居り候ため御無沙汰仕り候追〜整理も相つき候はゝ又ん枯本も山の賑やかしに時々御伺申すべく候（うろ子）▲爛酔玉、うろ子二大人よ御見捨てなく御引立てを願ひます（係）▲一銀建築所の非上さん一昨八十錢の事ですからねえ持つて來て上げて下さいよ（彼の妓）▲鑛屋中將の服罪に就て狂歌を一つ「少將の恥にかまわぬ中將も大將重い罪に服しつ」（豚のや）▲長谷川町の怪美人の本體を知らんと欲せば同町紅葉床の隣りの道具屋で聞け（注進子）▲統監府や內部に虎病患者が出來たが交通遮斷を何故せぬのだらう、夫れから交通遮斷區域の人が夜になると密かに抜け出して遊びに出たりする何とか云ふ郵便局員も見掛けた（尻照三）▲虎列刺が猖獗だと云ふので官衙は半日退けとした何の意味がある何う云ふ譯か役人が休めば虎列刺が減ずるなら贅沢に吉但し射倖的行爲を戒しむ△六白　不如意の事多し創始改變の事凶病傷盜害防ぐべし△七赤　恩を施して恩あり歡財事多し△八白　快欣の日なり萬づ進んで吉但し婦人の身上につき世話事あり△九紫　翻譯不達多し留常に逸するなかれ的殺なし

●江景日本人會長

江景日本人會長●鮮田新配の押收

新韓民報第百四十七號は治安妨害の

●配達出擔

午後七時三十分

自轉車大安賣

角商會代理店
前川自轉車店
京城南大門橫

廣告

銘酒 鶴

天氣豫報（自廿五日午後六時至廿六日午後六時）

北西の風晴

廿四日（華氏）最高溫度 七五、〇　最低溫度 六三、

京城水樂町 藤原支店 電壹八九番

マルヤード

學校は休まない方針に改めて買いたい遊んで居るから間食はする樣解部面は擴大する見込にて引續き訊問中

●惡店員の横領罪

原籍山口縣豐浦郡豐東村五百二十七番戸廣崎平民當時京城壽町一丁目九十三番戸大富治平方店員三木謹爾（二十）は以前壽町一丁目大島德平方に雇はれて居る內自分が注文を取り或は代金一圓に付四十錢を窃取して本町八丁目來山某に金一圓にて賣却し九月十三日頃前同樣某に金一圓にて賣却し九月廿二日南部署に告訴せられ田部警部一應取調の上留置せらる

●巡査虎疫に罹る

東署巡査樺山紀勇氏は連日防疫事務に獨掌され居りしが一昨夕遂に病毒に感染し手續の上隔離病院に收容されたるが同氏は常々精勤の譽高く署內に於ても頗る重せられつゝあるに付警視總監は早速昨朝見舞を遣はし慰問の意を表したりと

●景福宮のコレラ

猛烈を極め景福宮內にも侵入し昨二十五日同宮內女官一名に傳染し昨日は之が消毒の爲め非常の混雜を極めたり

●警部夫人の罹疫

內部寺島警部夫人は一昨日不幸虎疫に罹り隔離舍に收容されたるが同夫人は恰も臨月にて一同大に痛心しつゝありと

●仁川の赤痢患者

仁川松坂町三丁目居住の梶山菊子（廿二）は一昨日赤痢病に罹り直に避病院に收容さる

●醫師夫人の罹疫

內部寺島警部夫人は一昨日不幸虎疫に罹り隔離舍に收容されたるが同夫人は恰も臨月にて一同大に痛心しつゝありと

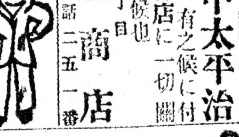
●仁川の赤痢患者

仁川松坂町三丁目居住の梶山菊子（廿二）は一昨日赤痢病に罹り直に避病院に收容さる

吉田館判斷

本町五丁目　三二　鍵

九月二十六日舊八月十二日八白先勝巳丑さたん△一白　間違多し旅行金談凶金品授受に紛爭起り易し△二黑　共同協力婚姻の事吉其外平凡△三碧　人に委托したる事より問題損害を受くる事あり盜害横領防ぐべし△四綠　交際上の破れ又は酒の破れを防ぐべし爭論中絶戒むべし△五黃　利潤を得る日なり創始改變の事大に吉但し射倖的行爲を戒しむ△六白　不如意の事多し創始改變の事凶病傷盜害防を施して仇を作る如きくべし△七赤　恩を施して恩あり歡財事多し△八白　快欣の日なり萬づ進んで吉但し婦人の身上につき世話事あり△九紫　翻譯不達多し留常に逸するなかれ的殺なし



手選特等 白米現金値段 一升入 七圓十錢 目方 廿貫目 十四錢五厘

御賣は特に御相談申上候 京城本町一丁目（電話六三二番）

「イ」今村商店

廣告

同 同 同 水原支店員

解雇廣告

古矢正三郎
宮崎信三郎
石倉悟樓
上田亘
田中太平治

右之者不都合の行爲有之候に付解雇致し候間自今弊店に一切關係無之候條此段廣告候也

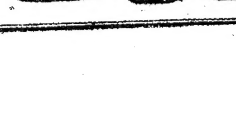
京城本町五丁目 電話二五一番 大上商店

●粉摺臼眞棒器械は從來使用し來りたる臼に取附使用する者にして其の取扱方は何人にも容易なり本器を取附る時は人力三人分の働きをなし且つ玄米の光澤をけさず保存米に適す詳細說明書御入用の方は御申越次第進呈す

●テーム式製麺器械は從來の製麺器を廢し要部總て最新の考案に成り麺厚薄を閑はず製麺の完全にして使用の容易なるは本器の特長なり

●スプリング式麺打器械は鋼製にして彈力は反動により彈器なり一日一人にて運轉し一日一人にて百貫目以上の麺を軟柔ならしむ

農蠶器具類製造發賣元
內外農蠶器商會大阪支店
大阪市東區住吉町久寶寺橋東詰
振替口座 大阪二四三九番



●テーム式製繩器械は橋造簡短にして完全なる然し製繩に細太自在且つ使用法の平易なるは他に比を見ず

改良農具

隨入意院

開院廣告

今般福岡醫科大學皮膚科教室を辭し左記の所に於て開院完全なる諸般の設備と最新式の療法を以て普く患者の診療に從事す

皮膚病、黴病、泌尿生殖器
癲病、腎臟、膀胱

開院九月廿七日（毎日自午前九時至午後十時診療）

位置南大門通三丁目（支那領事館前通郵便局裏元實業會社跡）

佐藤病院

院主 佐藤伊藏

▲無料紹介欄▼

人事部

●被屋たし　中學二年修業年廿五個人商店に被屋たし　氏名在社（四三五）

●屋入　烏賊紗製に經驗ある者至急屋入れたし　氏名在社（四三八）

●屋入　建具並に表具職人貳名至急入用　壽町一　桂萬吉

●屋入　小間物行商入用希望の人は左記の所に御來談あれ　壽町二丁目　國分旅館

●募集　敏腕なる外交員至急屋入たし　京城旭町三　京城廣告社

●小僧入用　京城大源門前　遠藤洋服店

●尋ね人　植澤丑太郎君に至急面會致したし　米倉町紀の國屋　山崎生

●被屋たし　染織學校卒業商業に經驗あり商店を望む京城美洞三十統十一戸藤岡廣吉

物件部

●龍山電話格安に至急讓渡したし　氏名在社（四三三）

●龍山未設電話賣却又は貸渡したし　氏名在社（四三四）

●電話至急買受たし　氏名在社（四四三）

若草町中央に地反二百坪餘一坪に付二圓内外を以て賣却す希望者來宅あれ　永樂座横　本田

本町赤門を起點として五間を距らぬ上等韓人建家土地共一坪五圓内外に賣却す望の人來宅あれ　永樂座横　本田

●電話讓渡したし　氏名在社（四四五）

廣告

各種洗濯石鹸 專門製造販賣 用途一陸軍、鐵道、船舶、繊維、道路、鑛山、水道湯屋散髪、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹸製造所

●花柳病一般、痔疾注射療法

神戸資生分院 新築落成入院隨意

京城梅毒病院

院長 元兵庫縣福原驛梅病院醫長 醫學得業士 蘆田耕平

京城相生町（南門湯隣）

●嗜莨家諸君○

ニコチンの中毒なく口中に芳香と快感を得んとする諸君は本品を用ひられよ紳士紳商に向け進物を贈る諸君は優美にして廉價なる本品を用ひられよ

（百本入金七十五錢以上）

直輸入商 日希商會 電話二百廿二番 京城本町二丁目

莨口金及埃及 EDP

電話開通 牛豚鷄肉卸小賣 三百貳拾九番 大販賣 たからや

明治町一丁目 石田精肉店出張所 電話千〇四十二番 本町一丁目三巴酒店前

日本郵船株式會社 滊船出帆廣告 貨物及船客取扱店 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

釜山長崎門司神戸行 山東丸 九月二十六日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 十月十四日正午時出

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 月 日午前四時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 九月三十日正午時出

●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 十月六日午後出

御乗船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候 注意 船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金壱圓 ▲三ヶ月前金五圓 ▲六ヶ月前金式圓 ▲郵稅一ヶ月金拾錢 ▲五錢活字十九字詰一行一四五十錢 ▲廣告料 ▲五錢活字十九字詰一行金六十錢 ▲廣告五錢活字十九字詰一行金六十錢

●廣告料

發行者兼編輯人 高木久馬太郎 印刷人 京城西署管内小門町 神戸一郎 發行所 京城新報社 電話六六三番

日韓印刷株式會社

營業科目 活版、銅版、石版、各種印刷、帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷、諸材料販賣

本社 京城明治町三丁目 電話三二三番

出張所 東京麹町區麹町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

●土耳古金口莨直輸入大販賣●

本社はトルコ最大莨製造會社にして其製品は原料精選其風味は良好無比なれば夙に世界各國に最多の輸出をなし好評を以て迎へられつゝあり卸小賣とも廉價に販賣仕候

京城本町四丁目 角 デーエス、パ子リス會社出張所 仁川港本町通 仁川代理店 顯原兄弟商會

表具師 松月堂 電話千三番

美術書畫 襖、壁、天井張 京城壽町一丁目 桂萬吉

特約販賣 醬油製造元 漬物味噌製造元 自製 大上商店 京城本町五丁目 電話二一五一番

和洋酒、麦酒、精酒、穀物麺類、銘茶、鑵詰、乾物、荒物、食料雑貨、ビール、米糧、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

宮内府博物館御用 古今美術書畫表裝 金銀扇風襖洋式天井張 壽町二丁目

診察時間 自午前時 至午後七時 毎月一日十五日休業 本町二丁目 中村耳鼻咽喉眼科醫院 院主 從七位 醫學得業士 中村健吉

精實を旨とし大勉强仕候也

薬學博士丹波敬三先生發明 消毒防臭殺菌劑 クレシン

クレシンニハ虎列刺菌、腸窒扶斯菌、實布的里菌等黴菌中最頑强ナル黴菌發生ノ抑止殺滅ニ偉大ノ効力ヲ有スル事現時發賣スル他ノ防腐消毒藥中比較ス可キモノナク而モ其價格ハ非常ニ低廉ナレバ悪疫流行ノ兆アル昨今公私衛生上殊ニ必要ノ良劑ナリ

販賣元 東京 合資會社 高田商會銀座販賣店

韓國特約店京城本町 山岸天佑堂藥房 電話三百七十二番

各藥店にて販賣り

東京海上運送保險株式會社 明治廿年七月創立 資本金一千萬圓 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番

謹 十月一日より五日まで 冬物大賣出し 見切反物並に寄裂類澤山取揃御覽に入れ候間何卒多少に不拘御買上之程伏て奉願上候 九月 京城本町二丁目 三越呉服店出張所 電話三五二番 謹

懷中藥 完全ナル 仁丹 THE JINTAN 發行所 各地藥店にあり

代理店 京城南大門通三丁目 藥井藥房本店 電話一〇六八番九〇四番 京城本町三丁目（電話四七八番） 新井藥房第一分店 京城南大門外 新井藥房第二分店

梅毒 毒滅 森下博藥房 各驅黴院 實驗證明

やすくうります 洋服毛布原雄吉 京城赤門横

代ゴム印彫刻書 京城本町一丁目 南部警察署前 成巧館代書部 成巧館彫刻部

消毒用デシンフオルマリン外一式 病虫害驅除豫防藥一式 工業用藥品 農具種子苗木肥料類 京城本町一丁目（長谷川町筋） 三輪商會 電話三八六番